

防災・安全ニュース

VOL. 38

危機管理課

2026年6月号

電話：65-1282

今年の四国地方の梅雨入りは、6月上旬と予想されています。これからの本格的な雨の季節に備え、家の周りの側溝清掃、備蓄や避難用品の確認をしてみたいかがでしょうか。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・土砂災害防止月間（6月）
- ・梅雨時期の防犯対策
- ・エアコン試運転

土砂災害防止月間（6月）

今月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」です。日本の国土環境は、傾斜が急な山が多く、梅雨時期の大雨などによって土砂崩れ、土石流、地すべりが起こりやすくなっています。土砂災害は、一瞬にして家屋などを押しつぶして尊い命を奪うなど、大きな被害をもたらします。

日頃から自らの生活圏（自宅や勤務地など）が土砂災害警戒区域になっていないかを防災マップなどで把握してください。そして、当該区域に指定されている場所に居るときに、先月末から運用されている「新しい防災気象情報」の「レベル3土砂災害警報」（高齢者等避難に相当）「レベル4土砂災害危険警報」（避難指示に相当）が気象庁から発表されたならば、市からの避難情報が発令されていなくても避難をご検討ください。

新居浜市防災マップ（新居浜市 HP）

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/boumap.html>

新しい防災気象情報（気象庁 HP）

→ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownbosai/keiho-update2026/index.html>

梅雨時期の防犯対策

梅雨の時期は、雨や風の音で侵入の物音が消えやすいため、周りの異変にも気づきにくいですし、外ではみんなが傘を差していることから不審者にも気づきにくくなります。このため、**空き巣に狙われやすい季節**です。

雨の日こそ、普段以上に「窓やドアの確実な施錠」と「留守を悟らせない工夫」が必要です。「窓やドアの施錠」は、補助錠の設置や防犯フィルムを窓に貼ることを組み合わせると侵入に時間がかかるため、犯行を断念させたいへん有効な対策になります。「留守対策」としては、在宅と思わせるようタイマーで室内の灯りやTVをつけたり、センサーライトを屋外に設置するなどのほか、旅行などで長期不在となる場合は新聞を郵便受けに溜めないように止めておくなどの対策をしましょう。

男性にも参考になります。

女性が知っておきたい雨の日の防犯・安全対策 (SECOM HP)

→ https://www.secom.co.jp/anshinnavi/crime_prevention/backnumber332.html

エアコン試運転

例年、電気店などへのエアコンに関する問い合わせが殺到するのは7月から8月だそうで、その時期は修理や入れ替えの対応に1週間以上かかることもあるそうです。近年猛暑が続いており、気象庁発表の予報では、この先3か月（6月～8月）の気温が平年より高いとされていますので、真夏に1週間以上もエアコンなしで過ごすことは、熱中症が心配される危険な状態になります。

もう既にエアコンを使い始めている方もいらっしゃると思いますが、室外機を含む点検をしていなかったり不具合を感じている方、まだ使っていない方は試運転をして、異常がある場合は早めに処置していただきたいと思います。

向こう3か月の天候の見通し (気象庁 HP)

→ <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?term=P3M>



エアコンライフナビ (DAIKIN HP)

→ <https://www.daikincc.com/ac-lifonav/>

(ページ下部の「エアコン試運転スイッチオン!」をクリック)



【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

我が家では、保護猫3匹が冷暖房完備の環境で気ままに暮らしています。

猫好きの方はご存じかと思いますが、猫はほかの生き物を「猫、敵(猫も含む。)、狩猟対象」の3つにしか認識できないそうなので、飼い主のことを「大きな猫」と思っているらしいです。私もきっと仲間の大猫と思ってもらっていると思いますが、敵の猫にならないよう、今後も猫へのご奉仕に努めて参ります。(N.O)